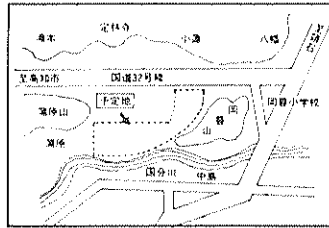


3月

高知医大が岡豊に決る



国立高知医科大学が49年度の創設準備校に決り、51年開校をめざして準備をすすめることになる。このため県は3月5日、小遊部落公民館で地元代表者、市の関係者を集め初の説明会を開いた。同大学は6年制、1学年100人で総定員600人。附属病院は400~600床、150人の医師、技師、280人の看護婦など450人の規模500戸の公務員宿舎。用地は現在の22万平方メートルに約6万平方メートルを買い足すとのこと。地元の受け入れ体制は十分だが、最近になって総需要抑制のため「50年度予算は全国で1校だけ」との情報が流れ、雲行きが心配されている。

1月

杉本革新市長が誕生



「息を豊かに吐いて登庁す。1月4日のご用始め、俳人市長らしく初登庁で1句。」「主人公である市民の意見を十分聞き、良識ある議会と協力一致して、古い歴史と文化を大切にしながら新しい政治と経済の発展する都市づくりを実行したい」と決意を述べ、「聴く市政、話す市政、そして、それに応える市政。を基本姿勢に杉本市政がスタートする。市議会の与党議員は、わずかに4人。助役、教育長は空席とあって、前途多難な状況のなかで「杉本丸」は大海原へ雄々しく船出した。

2月

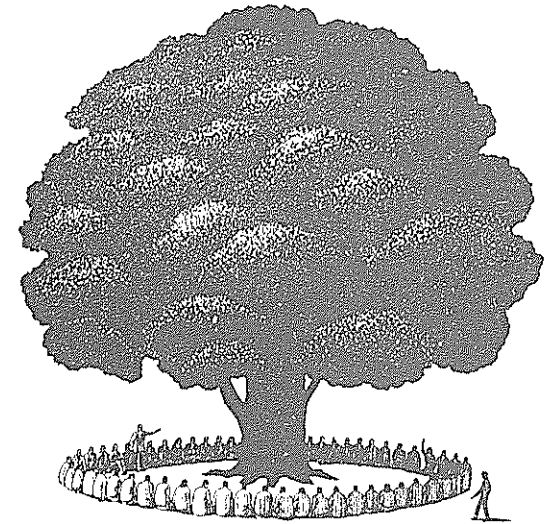
連合婦人会の市政会議



2月20日、市連合婦人会（浜田弥芳会長）の第13回市政会議が開かれる。当日は、杉本市長、宇賀取入役ら市執行部、主婦議長ら市会議員も出席。地区婦人会員からアンケートをとった300件の質問のなかから、教育、税金、福祉、公害など、婦人らしいきめ細かい質問がでる。とくに、空港問題にたっぶり時間をとっての市長、議長追及とあってタジ、タジの場面もあった。

2011年

49年のできごと



「気がつけば、落葉ばかりや、木を仰ぐ。杉本革新市長が誕生して満一歳の春を向かえた。昭和49年——この一年。悪性インフレと狂乱物価のなか、国の総需要抑制政策は地方自治体を戦後最大の財政危機におとし入れ「杉本丸」も揺れに揺れまくった。革新になって何が違ったか——。と、市民の声はきびしい。「一年を振り返って、息をつく間もなく、アッと過ぎた」と、杉本市長は12月市議会で述解。この一年を市民とともに振り返り、明日の糧（かて）にしていきたいものだ。



文化祭

多くの願いが結実

第一回南国市文化祭が十一月二十四日から十二月一日までの八日間、大篠公民館と中央公民館で開催されました。市内には人知れず文化、芸術活動が続いているたくさんの人たちがいます。そうした人たちの、みんな同じ場に集い、発表し、たがいの交流を深めたいという願いが大きく市民運動に発展。山崎次さん（稲吉）と島村辰彦さん（大坪）が発起人となり、文化推進協議会（会長 山崎次）が誕生し、文化祭を開くにいたったものです。文化推進協議会の会員は、現在

市展

入場者数は五千六百人

第十四回南国市美術展は、文化祭と同じく十二月二十四日から

第二回南国市文化祭

第十四回南国市美術展と併行して八日間

十二月一日までの八日間、市民体育館で開かれ、五千六百人ほどの人を集めました。搬入作品は一般、児童生徒の部をあわせて八千八百三十点ほどの作品があつまり、この中から選ばれた力作二千四百五十九点が展示されました。一般の部では、筒井広道、大野龍夫（洋画、彫塑工芸）、田岡耕作（日本画）、阿部基堂（書道）、平山昌幸（漫画）、畑山裕紀、高知新聞写真部（写真）の各審査員によって審査が行われ、特選十二点、褒状二十七点、入選百九十三点が選ばれました。

- ◆洋画◆
 - 無鑑査
 - 武内光仁（高知市）田島啓巳（大坪）島村義一（片山）
 - 特選
 - 山崎次（大坪）細川義彰（上野田）吉川秀子（三島）
- ◆褒状
 - 田島栄（稲生）森寿正（宇田）橋詰正利（横田）有沢正幸（大坪）宮崎繁則（農業高校）栗尾俊広（稲生）宮崎寿子（篠原）



十二月一日までの八日間、市民体育館で開かれ、五千六百人ほどの人を集めました。搬入作品は一般、児童生徒の部をあわせて八千八百三十点ほどの作品があつまり、この中から選ばれた力作二千四百五十九点が展示されました。一般の部では、筒井広道、大野龍夫（洋画、彫塑工芸）、田岡耕作（日本画）、阿部基堂（書道）、平山昌幸（漫画）、畑山裕紀、高知新聞写真部（写真）の各審査員によって審査が行われ、特選十二点、褒状二十七点、入選百九十三点が選ばれました。

市民税を引き下げ



市民税(個人市民税)は標準税率の1.1倍(1割増し)で課税していたが、4月から標準税率で課税されることになった。これによる減収は約1,800万円。市民にとっては、やっとよそなみの税金になったわけだ。

次の課題は固定資産税、38年から標準税率100分の1.4を上廻る100分の1.6で課税されているもので改善が望まれている。

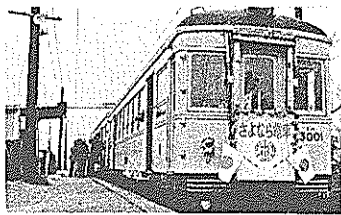
また、国保税は医療費の約50%増、助産費・葬祭費の支給倍増、高額医療制度の新設で、0.8%アップ。他の市は20~30%アップしたところから、県下九市で二番目に高かったものが七番目になった。

土電安芸線が廃止

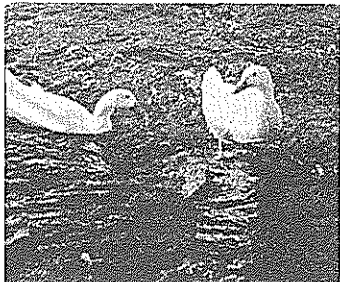
サヨウナラ土電安芸線——。大正13年の開設以来、ざっと50年の歴史をもち、住民の足となって活躍した土電安芸線が4月1日廃止された。

これは、国鉄阿佐線の建設に伴うもので、土電は、ここ数年来過疎化の進行、マイカーの普及、諸経費の高騰などで収支が悪化し廃止に踏み切り、後免——安芸線(26.8%)を鉄道建設公団に売却することにしたもの。

これにより後免——安芸間は阿佐線開通の日まで代替バスが運行されている。



全国初のゴミ袋無料化



狂乱物価の暗い世の中、台所に直結した明るい行政の手を——。

4月1日、全国で初めて、ゴミ袋の無料化に踏みきった。

ゴミ袋の無料化は、単にゴミ袋がタダになったということだけでなく、これを通じて「私たちのまち。としての、市民参加の住民自治がつくられるか、どうかにかかっている。

ゴミ問題は、市民が被害者であり、加害者であるところから、ゴミ袋の無料化が、市民の高い良識のうえにたつて、日本一きれいな町づくり。になれば、約3,300万円も安いものといえよう。

助役・教育長が決る



門田真一助役

高知空港対策本部できる



4月20日、杉本市長を本部長に空港対策本部を設置。

同本部は、すべての市民の生命とくらしを守る立場から、空港問題に関する資料の収集、調査、広報活動、市民相談などを行うために設置されたもの。

本部長は市長、副本部長助役、本部員は収入役、教育長のほか、関係課長らの7人。

土佐国衙跡に桜の二世



緑の週間の3月2日、比江の国衙跡・紀貫之邸跡で、由緒深い桜の記念植樹が行われた。

この桜の若木は、ここ国衙跡にある約200年たった老桜から実生した2世で、高知営林局が3に余りに育てあげたもの。このほか、ウマメガシなど90本が周囲に植えられた。

島田宏教育長

空席のまま注目されていた助役教育長の選任同意議案が、3月市議会に提案される。

門田真一助役の選任については3月20日、全会一致で市議会の同意が得られたが、教育長については流産。

4月30日、臨時市議会が開かれ島田宏氏の教育委員選任に市議会が同意、翌日の教育委員会で同氏の教育長が決る。

杉本市政の発足以来4ヵ月。助役、収入役、教育長と市役所の体制が整い本格的な出発となる。

るが、日本画となると、絵具やその他の資材にそのままとけこみにくいという隘路があり、日本画の魅力にひかれながらも新人がなかなか育ちににくい、一人でも多くの道を志す人びとの生れることが切望される。

◆工芸◆

特選 矢井田須美子(大垣)

三好室(久礼田)吉川美貴子(篠原) 関敏夫(高知市) 栗林生次(西野田)

《評》昨年の出品数、二十に対し五十二という急増ぶりにも驚かされたが、見当りがいい出品が少なく、着実に伸びているのが何よりも結構なことと思う。

◆書道◆

無鑑査 川内達喜(大垣) 弘末忠男(里改田)

特選 田所風翠(大垣) 関田菊子(篠原)

褒状 坂本正(高知市) 橋田環(東略) 矢野一郎(篠原) 門脇勲(土佐山田) 井上侑子(伊野町)

《評》古法の追求による真摯な作品が多かったが、今少しバライティが欲しかった。書が墨線の芸術である以上、墨色や筆意の研究に

更に努力してもらいたい。特選の二作品はベテランらしい洗練さを買った。

◆漫画◆

無鑑査 沢本英世(里改田)

褒状 葛目義人(岡豊町)

《評》最近、マンガのネタは、ごろごろしていて、マンガを通して日頃の不平、不満をぶちまけたところだが、今年も残念ながら出品が少なく残念である。写真、洋画、工芸、書道などに比して、マンガは線とアイデアが勝負なので、見かけ上、ボリュームに乏しく、一般的にとっつきにくいからである。しかし、県下では唯一の市展マンガ部なので、その灯をたやしたくなく、何とかして復興したいものである。

◆写真◆

無鑑査 原孝士(土佐山田町)

特選 土居正道(立田) 川添進一(大垣) 山本清志(高知市) 竹内律二(里改田) 中山弘雅(大垣)

褒状 筒井真道(大垣) 友永喬(稲生) 山北華一(土佐山田) 岡本守正(大垣) 北村敏雄(大垣) 浜田定(伊達野) 春田昌男(立田) 麻田清(大垣) 水田貴士(岡豊町)

《評》総数百八十九点の中で、特選五、褒状九、入選七十一、落選を選んだが、総括的に申して、ずば抜けて傑出した作品は少なかった。が平均的には作品が揃っていた。選外にしたものの、心をくだいた。それだけに、選外の作品の中にも、約半数は入選に値する作品があったという事である。今後の精進を望んで止みません。これからの作品は、構図的に、技術

的に、そして対象とのふれあいを大切にすれば、上位へ浮上する作品が出てくる。昨年もそうであったが、モノクロームの写真より、カラーの写真の方がよりすぐれていた事は、南国市展の特徴で、大変ユニークな事であり、めでたし。モノクロームの作品は特選一点にとどまったのは少々期待外であった。

生活困難な人のための民生委員

新しい各種相談員

お気軽にどうぞ

生活保護や医療扶助の必要な家庭や、生活の苦しい人たちに對する個別指導、地域の環境改善、保護衛生、レクリエーションなどの集団指導などをすすめています。任期 四十九年十二月一日〜五十二年十一月三十日まで。

▼上倉

奈路北部、中谷 西原俊(中谷) 上倉、井の沢 岡本喜一(上倉)

奈路東部、西部 宮本忠夫(奈路)

一道木、小倉、中の谷、荻野 野村忠幸(白木谷) 中平、中部、中組、小滝、滝の下、番所 岩原龍来(白木谷) 桑の川、黒滝、大改

▼久礼田

沖の土居、石堂 下田誠男(久礼田) 植田の南 古谷寿美(植田)

植田北西 橋詰政実(植田) 植野

東中 今村十三孝(植野) 植野

西北、西南 野村竹弘(植野) 久

礼田、西南、高石 久米静彦(久

礼田) 久礼田中の北、中南、中



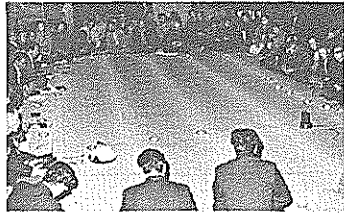
6月

荒れ狂う農業問題

36年、農業基本法が登場。小倉大平、八京、奈路、小連と相次いでみかん園が開設されたが、価格暴落で身売り、廃園の打撃。一方西島ハウス団地もピーマンのバカ安値、オイルショックをもろにうけて、メロン、スイカ狩りの観光農業で苦肉の策。「国・県のことの反対をすればもうかる」ネコの目農政に農民は地に足がつかない。工業生産拡大のため農地はつぶされ、輸出の見返りとして外国から農産物を買って、いまや食糧の自給率はカロリー計算で43%。専業農家はこの10年間に3分の1に減少してしまった。

6月

市民と市長の対話集会



聴く市政、話す市政、そして、それに応える市政——。の第一歩ともいえる市民と市長の対話集会がスタートした。地域住民の意見や要望など、生の声を聴き、それを行政の中にとり入れ、生き生きとした市政をすすめていこうというもの。前浜地区を皮切りに市内8ヵ所で約500人の市民が集り熱心に話し合いがされた。「対話集会のもてなかつた地区については、50年間に精力的に開きたい」と市ではいっている。

6月

表情のある未来像づくり

高知大、高知短大、高知女子大の教授ら40人で組織する自治体問題研究所(理事長・西沢高知大文学部部長)に南国市の行政診断を依頼。▼南国市でなくてはできない表情のある町▼一千年の歴史と伝統、高い文化遺産を誇る都市▼みどりりと光と水を守る都市▼新しい市民の都市を四つの柱に基本構想をまとめようというもの。まず、大学教授陣に専門的な立場から診断してもらい、市民と市長の対話集会などを通じて広範囲な市民の意見を聞き、最終的には市民の代表で審議会をつくり結論を出す計画で、49年度中にはまとめたいとしている。

5月

市民企画のはじめての行事



5月1日は勤労者の祭典、第45回目の統一メーデー。インフレ阻止、買い占め、物価値上に反対しよう——。南国市でははじめての催しが、市役所前広場に勤労市民1,300人が参加して開かれた。また、こどもの日の5月5日、「保育まつり」ではタイガーセブンや怪獣に園児も大喜び。一方、囲碁愛好者約100人は、日頃の腕前を市長杯、議長杯にぶっつけた。市民が自分たちで企画した催しだけに感激もひとしお。ますますその輪を広げて市民の交流の場にしてほしいものだ。



5月

古ビニールで漁民勝訴

浜改田漁協組(溝淵末広組長)と組合員20人が国、県と市の三者を相手どって総額約2,000万円の損害賠償を求めていた「古ビニール公害訴訟」判決公判は5月23日高知地裁で開かれ、下村裁判長は原告の主張をほぼ全面的に認め、総額1,100万円の支払いを国、県と市にいい渡した。国、県はこの判決を不満として高松地裁に控訴。市は「市民と争うことは避けたいが、国、県、市の三者が被告で、市が控訴しなければ全額損害賠償しなければならぬ」ところから控訴にふみきった。



5月

老人の交歓地引き網

5月10日、浜改田の海辺で高知市と地元老人クラブの間で交歓地引き網が行われた。高知市から157人、地元南国市から約40人という大世帯、坂本高知市長、杉本南国市長も参加して昔なつかしいロクロに汗を流し、ドロメの「ぬたあえ」に香つづみをうち、酒をくみかわして楽しい一日をすごした。

- (稲生)
 - 中組、南組、浜田亀(片山)岡上
 - 北組、寺山、岩原作治(片山)小
 - 田村、上畑、室屋、竹内春(里改
 - 田)野尻、土居、立石、馬橋、三
 - 谷、(里改田)中ノ下、東場、浜
 - 口寅猪(浜改田)岩坂、浜田、八
 - 松隆枝(浜改田)本村、中田、久
 - 保美稲(浜改田)八松、細工所、
 - 松下健一(里改田)
- ▼十市
 - 栗山、錦城、糸木、楠上、西村千
 - 代鶴(十市)札幌、大小浜、山本
 - 季晴(十市)人形谷西和剣尾、土
 - 居谷國政東組、土居美夫(十市)
 - 東坪池、西坪池、札幌、土居彦馬
- ▼三和
 - 田村、高橋茂己(田村乙)久枝
 - 松下仁(久枝)久枝、山本美重(久
 - 枝)立田、佐竹悦美(立田)立田
 - 北村千鶴(立田)茨西新屋土居
 - 中須空港大学、吉村源一(物部)
 - 田村、山岡哲郎(田村乙)茨西、
 - 下陸内、小松清猪(物部)下陸内
 - 上陸内、都築幸子(上陸内)
- ▼前浜
 - 里組、大原友義(前浜)西組、浜
 - 田重彦(前浜)中組、浜田正四子
 - (前浜)寺家、久保、中沢信喜(前
 - 浜)東組、沢田武彦(前浜)浜窪
 - 常徳寅繁(前浜)
- (園分)長岡、野中智恵子(新川)
- 長岡、岡林政衛(西島)後免、藤
- 平静江(後免町)野田、五百蔵貞
- (下野田)大篠、千頭利子(篠原)
- 日章、岩、入交照(田村)三和、
- 西山三重(片山)前浜、浜田静枝
- (前浜)稲生、久万喜美(稲生)
- 十市、西村千鶴(十市)

老人

老人のよき話し相手となり、地域福祉活動への参加促進などにより、生きがいを高めるための相談相手になります。

老人のための相談

川口義章(十市)竹島春江(前浜)橋詰利危(稲生)坂田原盛蔵(物部)鈴江潤次郎(大埔甲)小川泉(堀の内)高橋太郎(上野田)

母子

母子家庭の生活環境の実態をつかみ、手助けします。母子や寡婦福祉資金貸付けについての相談など、いろいろの相談相手になってくれます。

母子家庭のための相談

上倉、岩崎富美(白木谷)瓶岩、小野寺昌子(成倉)久礼田、橋詰猪猪(種田西)岡野、浜田危喜(岡野町八幡)園分、竹中八重子

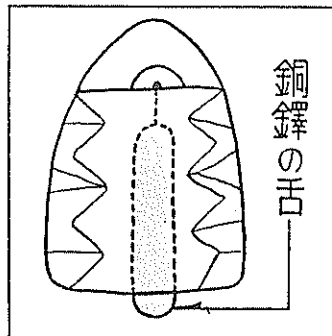
- 南、西岡淳雄(久礼田)久礼田、
- 西北、吉川まり(久礼田)領石北
- 北村玉則(領石)領石南中、北
- 村久寿喜(領石)
- ▼岡豊
 - 中島町、常通寺島、武種博(岡豊
 - 町中島)定林寺、中沢清水(定林
 - 寺)中島沖、三島、山崎良猪(岡
 - 豊町中島)小連、筒井義治(岡豊
 - 町小連)浦原、西川利昭(浦原)
 - 八幡、浜田将(八幡)滝本、植田
 - 隆雄(滝本)小籠、江村、吉田、
 - 水田勝清(小籠)笠ノ川、川田豊
 - 三郎(笠ノ川)
- ▼園分
 - 園分、高村幸貴(園分)左右山、
 - 山本峰子(左右山)比江、水田培
 - 喜(比江)
- ▼長岡
 - 宇田、藤中義繁(東崎)南陣山、
 - 西山、北村時重(陣山)北陣山、
 - 南三島、北三島、沢田義幸(三島)
 - 上末松、下末松、上甘枝、山崎英
 - 子(下末松)西島、古市、北小籠
 - 岡林政衛(甘枝)東崎東部、祈
 - 年、原田満雄(東崎)東崎西部、
 - 岡林清重(東崎)一区、村田義正
 - (東崎)二区、森田燦(野中)三
 - 区東、谷田登美子(東崎)三区西
 - 岡崎綾子(小籠)四区、吉村玉恵
 - (甘枝)五区、辻野信子(甘枝)
 - 六区東、中村明記(小籠)六区西
 - 門田陽子(甘枝)七区東、吉村
 - 一男(小籠)七区西、南小籠、中
- ▼稲生
 - 衣笠、丸山、井川、千屋崎、戸梶
 - 静恵(稲生)小久保、芦ヶ谷、黒
 - 岩顔美(稲生)土居ノ谷、中谷、
 - 久万喜美(稲生)千田ノ木、立石
 - 浜田政子(稲生)林谷、西谷、
 - 井上繁子(稲生)北地、徳弘正男
 - (十市)八丁、阿戸、丸山、細川
- ▼野田
 - 村勢治(小籠)八区、金堂福重(甘
 - 枝)
 - ▼後免
 - 東町、横町、西内雪子(後免町)
 - 栄町、豊永茂春(後免町)中町、
 - 門田耕喜(後免町)中ノ下、西町
 - 川田光城(後免町)
 - ▼岩村
 - 福船、堀の内、小川泉(堀の内)
 - 東西金地、田所富美(金地)包末
 - 徳久政直(包末)
 - ▼大篠
 - 西窪、山崎、八木、島崎千代子(大
 - 埔乙)住吉野、西野々、武市正儀
 - (大埔乙)能間、岡本満(大埔甲)
 - 関、田井、竹中、関田時於(大埔
 - 乙)朝日町、橋田猛(大埔甲)稲
 - 吉、鈴江潤次郎(大埔甲)明見、
 - 松村治(明見)篠原、千頭利子(篠
 - 原)伊達野、北村藤子(伊達野)
 - 城陸、新川、長野正文(大埔甲)
 - 稲吉、武内永幸(大埔甲)



7月 空港拡張で拒否反応

高知空港拡張に伴う公聴会が6月5日開かれたあと、1ヵ月後の7月10日、国は全ての手続きは終わったとして決定告示をする。そして、9月26日、運輸省と県土地開発公社は覚書きを交換して本格的な用地買収にとりかかる。市議会、県議会への請願が不採択になった拡張反対市民連合(有沢実会長)は、市民大集会を開いて「恵まれた環境を守るは市民の権利。拡張阻止は子孫に残す最大の資産だ。拡張を断念するまで闘い抜く」決意を宣言。杉本市長も「市民の生命と生活を守るため、断固反対」することを表明した。

7月 日章で銅たくの舌

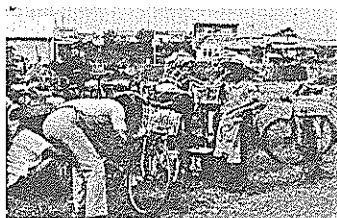


日章の「西見当遺跡」で、弥生時代の祭儀をしのばせる銅鐸の「舌(ぜつ)」が見つかった。日章小6年、末政光弘君ら数人が深さ30cmの土中から掘り出した土器、石斧(ふ)石鎌(ぞく)など、弥生式土器の中にまじっていたもの。「舌」は全国的にも和歌山、兵庫、鳥取の三県しか、これまでに発見されておらず、四国では初めてのこと。銅鐸というのは青銅製のつりがね様のもの。「舌」はひもでつる。銅鐸というのは青銅製のつりがね様のもの。「舌」はひもでつる。銅鐸というのは青銅製のつりがね様のもの。「舌」はひもでつる。



7月 岡豊・里保育所が落成

「床に傷がつくのも心配よ」と保母さんは笑顔でいう。7月20日(里)同18日(岡豊)と相ついで落成式が行われた。国の総需要抑制、工専用資材の高騰などをまともに受けての困難な施行だけに感激もひとしお。岡豊は602平方m、7,155万円130人収容。里は582平方m、1億38万円、100人収容で、ともに鉄骨ブロック平屋建て。保育所、幼稚園、障害児保育、0歳児保育など市民の関心も強い。西部保育所は着工したが、過密となっている後免・大篠保育所の新築など課題は多い。



9月 自転車のイエロー作戦

9月10日の老人の日をまえに、「老人乗用自転車黄色化運動」が始まった。おとしよりとこどもを大切に行政姿勢から、おとしよりの乗る自転車を黄色のペンキで塗ってドライバーの注意をうながし、おとしよりを交通事故から守ろうというもの。市内83の老人クラブを通じて調べた老人自転車の台数は2,603台。クラブごとに自転車を集めてもらい塗装巡回、不良車は整備点検。「黄色い自転車を見たら、まず徐行を——」と市民に訴えた。

9月 台風16号が襲来



「防災の日」の9月1日、台風16号は最悪のコースをとって市を直撃、容赦なく猛威をふるった。このため、台風14・15号のツメ跡もなまなましい久枝海岸の防潮堤は、長さ200mにわたって決壊。稲生地区では下田川の大潮が逆流。またもや泥海の洗礼を受けるなど市内全域で被害が相次いだ。対策本部の調べでは、全壊5、半壊36、床上浸水184、被害総額9億4800万円。



9月 建設大臣が現地視察

さきの台風16号で決壊した久枝防潮堤を視察するため岡建設大臣が高知入りした。久枝防潮堤は、さきの台風14・15号で一部かん没、続く16号で決壊。市と地元は台風前から防潮堤の補強を要請していたが進まず、この惨事となったもので、強力に災害復旧を要請、建設大臣を引っぱりだした。災害復旧は、来年4・5月までに5億円を防潮堤を復旧、新たに離岸堤3基の設置を約束させた。稲生の承水溝は、9月市議会で7,000万円を補正、全面改修することになった。

田中弘道(大塚) 田所良知(里改田) 島内秀虎(立田) 佐吉田定喜(廿枝)

家庭児童相談室は市役所二階にあり。児童の心身障害、非行、性格や生活習慣、家族関係、そして妊産婦の福祉などの相談相手になります。

人権 人権についての相談 身のまわりで人権を侵したり、侵されたりしていませんか。毎月二十日は、後免町公民館で人権相談に当たっています。また人権相談員の自宅でも相談相手になります。

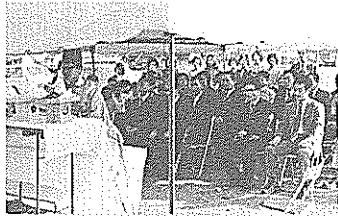
社会福祉協議会は、社会福祉事業を能率的にするための、いろいろな活動をしています。また地域には、それぞれ地区会長がいて、地域の社会福祉をよくするための活躍をしています。

少年のための補導員 非行のおそれのある少年を早くみつけ、指導するための街頭補導員やいろいろな悩みごとの相談相手になっていきます。

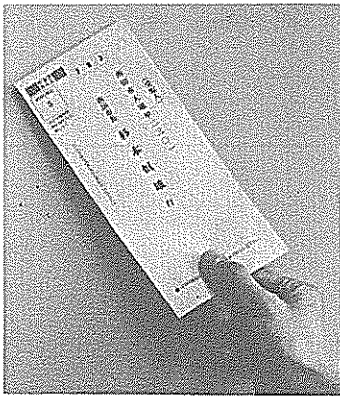
成人 新成人の感想文募集 最近の選挙や成人の日を迎え、新有権者または社会人として地方自治や国政への参加について、自分自身で経験したり、考えたり、感じたりしたことを課題に感想文を募集します。課題はその内容にそれぞれふさわしいもの。

農業 農業委員会だより 改選後の組織総会を十一月二十五日に開催。会長 田村英実、会 長代理 松岡幸寿、農地部会長 溝瀬正、部会長代理 沢本一男。

日章小校舎改築に着手



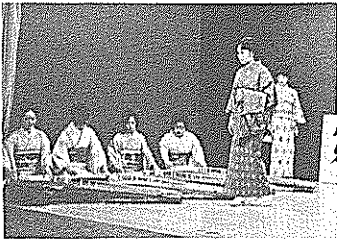
国の総需要抑制をもろに受けて延びのびになっていた日章小学校の校舎改築は、12月2日起工、米年5月末に完成の見込みとなった。同校の中校舎の西、4教室431平方は老朽がはげしく取りこわし、鉄筋2階建て886平方の校舎を建てる。一階は普通教室4、二階は視聴覚室、音楽室、理科室となる。総事業費1億1,000万円。西部保育所は総事業費1億5,100万円。11月28日起工した。また、総合社会福祉センターも12月中旬に着工の見込み。事業費1億7,900万円。



市長へ手紙を出す月間

かくれた市民の生の声を市政に生かそう——。12月を「市長へ手紙を出す月間」として、市内の全世帯に料金受取人払いの封筒と便せんを配付。市民にはいろいろのタイプがあって、自分の意見を堂々と述べられる人もあれば、いいたいことがあるところから、市民の声を公平に聞いて、南国市の未来像づくりや基本計画などに生かし、生き生きとした市政をすすめていこうというもの。同時に「ゴミ袋の無料化」についてアンケート。集計には日時がかかるが結果が注目されている。

初の文化祭開かる

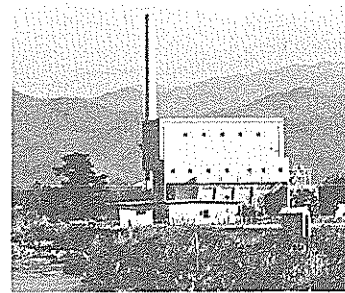


文化活動を通じて人間性の回復を——。文化、芸能を愛する人たちの熱い願いが市民運動に発展市が発足して初めての「南国市文化祭」が行われた。催しものは舞台グループ（剣詩舞、詩吟、謡曲、箏曲、尺八、音楽、日本舞踊、演劇、着物きつけ茶道）と展示グループ（華道、絵画、書道、写真、俳句、短歌）と盛りたくさん。11月24日から12月1日まで、大濠公民館と中央公民館で行われ、多くの市民でにぎわった。

地方自治体の財政危機



国の金融引き締め、公共事業の繰り延べなどの総需要抑制策は自治体の行財政を圧迫。全国の市町村で事業がストップしたり、職員の給料が支払いきれないなど、大きな財政危機をまねいた。とくに国が支払うべきものを市民が肩代わりしている「財政超過負担」の解消を求める市町村の声は、まさに自治体財政そのものの健全な運営に対する強い要求となってきており、全国革新市長会は自治省に盛り込み自治大臣と強力な交渉をもった。



ゴミ焼却場が操業開始

市民待望のゴミ焼却場が、国分川ぞいの廿枝に完成。10月24日から操業を始めた。総事業費5億173万円。焼却炉は24時間運転で1基90'の焼却能力があるものが2基。マルチサイクロン（普通集じん器）と電気集じん器を約6,365万円で設置、ばい煙、ガス、その他の有害物を完全にシャット・アウト。このほか事務室や会議室のある管理棟、車庫、地元民のため焼却炉の余熱による温水を利用した共同浴場、管理棟内には集会用の大広間、800万円円で日本庭園も完成。用地の広さは7,632平方（約7反7畝）



12年ぶりに農委選挙

11月10日、農業委員の選挙が行われ、30人が決った。農業委員の選挙は、37年に投票で争われて以来、無投票で、今回は12年ぶり3回目。深刻化する農業問題への関心の高まりを反映して37人が立候補、選挙となったもの。当日の有権者数12,899人。また、農協、農業共済組合から5人、市議会推せん学識経験者5人、あわせて10人も決った。

建築

最近、違反建築による苦情が多くなっています。建物の新築、増築、移転などをする場合、建築確認申請を市役所の建築係に出して確認をうける必要があります。このため、気をつけます。建築などのくわしいことや相談は建築係へ遠慮なくどうぞ。

建築確認申請を

南国市消防吏員募集

- △受験資格・昭和25年4月2日から昭和32年4月1日までに生れた男子で、高校卒業程度の学力をもち、身心強健なもの。
△受験受付・市役所管理課職員係にある受験願書に記入の上、昭和50年1月31日までに職員係へ提出。
△試験方法と場所・高校卒業程度の筆記試験と身体検査を南国市役所で。
△試験日時（第1次試験）昭和50年2月17日（月）午前9時
△採用人員・若干名
△採用期日・昭和50年4月1日付

農業振興部長 島内正雄、部長代理 田淵秀馬の各氏に決定。十二月二日、農地部会を開き、農地所有権移転、農地転用の申請などを審議。十二月九日、農業振興部会を開き、農地相続税法の改正の要望、水資源の確保についての要望、要求予算案についての要望について協議しました。

国民年金の保険料

一カ月千円に

年金の給付に必要な費用は、かけ金と国庫負担金でまかなわれておりますが、これら引きあげられた年金との均衡をたもつため、一月から、一ヶ月千円に改定されます。このかけ金を納め忘れたりすると、せっかくの年金の権利に結びつかなくなり納付期限を守って、必ず納めるようにしてください。附加年金のかけ金は、すえおかれて一ヶ月四百円です。

二十歳になったら国民年金に

二十歳になると、その日から成人として多くの権利が与えられ義務が課せられますが、国民年金に加入することもその一つです。国民年金制度は、年をとったとき、けがをしたり、一家の働き手が死亡したりしたときに、老令年金、障害年金、母子年金などを支給して本人やその家族の生活を保障するために、加入者全員が協力しあって保険料を積みため、さらに国も保険料の半額負担を行なっているものです。国民は必ず何かの年金制度に加入する建前になっています。ですから、厚生年金保険などの被用者年金制度の加入者で、その制度から年金を受け取ることが出来る人、これらの人の配偶者、昼間部の学生を除いた二十歳から五十九歳までの人は、必ず国民年金に加入しなければなりません。ところで、二十歳になったばかりの若い人達の中には、年金に対する意識が薄く、年金といっても実際にもらえるのは遠い将来のこと

五十万円を香典返し 東崎の岡田孝司さんから、亡くなられた父 藤吉さんの香典返しとして現金五十万円が「社会福祉のために」と届けられました。市では後免野田小と社協で活用します。ありがとうございます。